

○令和4年度 国立大雪青少年交流の家体験活動普及啓発事業

「たびうさぎファミリー」



＜絵本編＞ R4.6.24（土）・25（日）

＜川遊び編＞R4.8.27日（土）28日（日）

※27日は天候不良のため中止

＜秋探し編＞R4.10.8（土）～9（日）

◆目的

＜絵本編＞

絵本のストーリーに合わせて、家族が外遊びの楽しさと意義を体感するとともに、家族の交流の機会とします。

＜川遊び編＞

川遊びを通して、家族が外遊びの楽しさと意義を体感するとともに、家族の交流の機会とします。

＜秋探し編＞

秋探しを通して、日常では味わえない自然と触れ合う楽しさを知ります。

◆参加実績（各回定員15家族程度）

＜絵本編＞12家族40名 ＜川遊び編＞8家族28名 ＜秋探し編＞11家族35名

◆プログラム

＜絵本編＞

【絵本に出てくる遊びをしよう（105分）】

- ・絵本専門士による絵本の読み聞かせを行い、絵本の物語の内容に沿って森の中にピクニックへでかけた。絵本の中に出てくる植物や音、色などに注目して自然探し（ネイチャービンゴ）を行った。

【自然を味わおう（90分）】

- ・午前の活動で視覚や聴覚で自然を感じる活動を行ったため、午後は笹茶と白樺樹液を使って白玉団子を作って食べ、味覚で感じることのできる活動を行った。



＜川遊び編＞

【川で遊ぼう①②（120分）】

- ・家族で持参した道具を使って自由に川遊びをしたり、川にある石をルーペとライトを使って観察したりした。また、災害時などに使用できる浄水ボトルで水をろ過して飲む体験をした。



## <秋探し編>

### 【ウォークラリー (225分)】

- ・家族に1台トイカメラとビンゴカードを渡し、問題に答えながら秋探しを行った。

### 【やきいも作りとナイトハイク (1時間30分)】

- ・子どもはスタッフとナイトハイクへ出かけて夜の自然を感じ、親は焚火で暖を取りながら参加者同士のコミュニケーションを取る時間とした。

### 【ネイチャークラフト (150分)】

- ・ウォークラリーで集めた材料と焼き板を使って家族で作品を作って、他の家族の作品を見ながら交流を行った。

### 【ふりかえり (90分)】

- ・家族で一枚の画用紙を使い自由に2日間の活動をふりかえった。



## ◆事業運営・企画のポイント

今年度は「大雪青少年交流の家は幼児期における外遊びを応援します！」をテーマに普及啓発資料の作成を行い、事業全体を通して子どもたちが夢中で外遊びをすることができるように工夫して事業を企画した。

### <絵本編>

- ・絵本の選書と読み聞かせを絵本専門士に依頼した。物語では登場人物たちが五感で季節を感じる場面や表現があったため、物語とリンクさせながら音、感触、におい、色などをキーワードにして自然探しを行う活動を取り入れた。

### <川遊び編>

- ・北海道の川は水温も低いため活動時間を短くしてその中で子どもたちが夢中になれるような活動を取り入れた。

### <秋探し編>

- ・コロナの影響で2～3年日帰りで事業を実施していたが宿泊をしたいという多くの声があったため、感染症対策を行い宿泊で事業を実施した。

## ◆参加者の声

### <絵本編>

- ・普段なかなか森の中で遊ぶことがないので、家族でアウトドアができて楽しかったし満足した。
- ・植物や音など感じながら気持ちよく歩くことができた。
- ・普段なかなかできない体験ができてとても楽しかった。

### <川遊び編>

- ・みんなで夢中になれる時間だった。
- ・なかなか川の中で遊ぶことがないので、良い機会になった。めずらしい石がいっぱいあって、子供が喜んでいたので、教えてもらってよかった。家族だけではできない活動ができて楽しかった。
- ・自然の不思議を体験することで日頃の「なぜ？」がより深く、自分のものになったと感じた。「この石は地球の奥深くにあったものです」という説明を聞き、「だから火山で飛び出た石なのだ」と納得していた。

### <秋探し編>

- ・子どもが実際にチャレンジできることが多く、その機会をいただけることがありがたい。
- ・どんぐりや松ぼっくりや木の枝を探したり、拾ったり、木の紅葉を見つけたり、きのこを見つけたり、秋を感じられたと思う。プログラムにたくさん秋を感じる機会があった。
- ・普段ここまで自然を感じるということがないので、自然を通じて他者とも交流でき楽しかったです。

## ◆事業の成果

①参加した保護者や子どもたちに、屋外で思いっきり遊ぶことを通して外遊びの重要性と楽しさを広めることができた。